

能登半島を襲った豪雨に対して、 さらなるご支援をお願いいたします



Lions Clubs International
FOUNDATION

2024年9月24日

LCIF 理事長は、今回の訪問に合わせて能登半島地震被災地を訪問し、現地の状況を知り、地域のクラブを励まし、これまで懸命の支援を続けているライオンズに感謝を伝える予定にされておりましたが、ご存じの通り、能登半島は先週末より未曾有の大雨に見舞われ、現在も多くの住民が孤立、道路は寸断され、訪問は断念せざるを得ませんでした。

しかし、LCIF 理事長は多くの報道を受けて、国際会長と協議の上、豪雨被害に対する大災害復興支援 10 万ドルの交付を昨日決定いたしました。

このたびの豪雨は、まだ脆弱な土壌と、傷んだ家屋やインフラに深刻なダメージを与えてしまいました。ようやく前に進み始めたばかりの復興は、また大きく遅れざるをえません。何より、なんとか耐えて前を向こうとしてきた地域に暮らす方々の精神的苦痛は、いかにばかりかと思えます。

能登半島地震復興支援委員会は、334-D 地区と協力しながら能登半島の住民の中長期的な復興を支援できるような事業検討を進めておりました。今後も、現地を知るライオンズの声聞きながら、引き続き支援を続けていきます。

多くの皆様がすでに能登指定で寄付をくださっていることに、心から感謝いたします。

しかし、今回の豪雨被害と新たな MCAT の交付を受け、日本 LCIF としてすべてのライオンズ会員の皆様に、さらにお一人 2,000 円を目安に、寄付をお願いいたします。報告の方法は、これまでの能登指定寄付と同様です。

皆様のご支援を何卒よろしくお願いいたします。

LCIF 理事 山田 實紘

LCIF 理事 鶴嶋 浩二

LCIF 会則リーダー 鈴木 誓男

